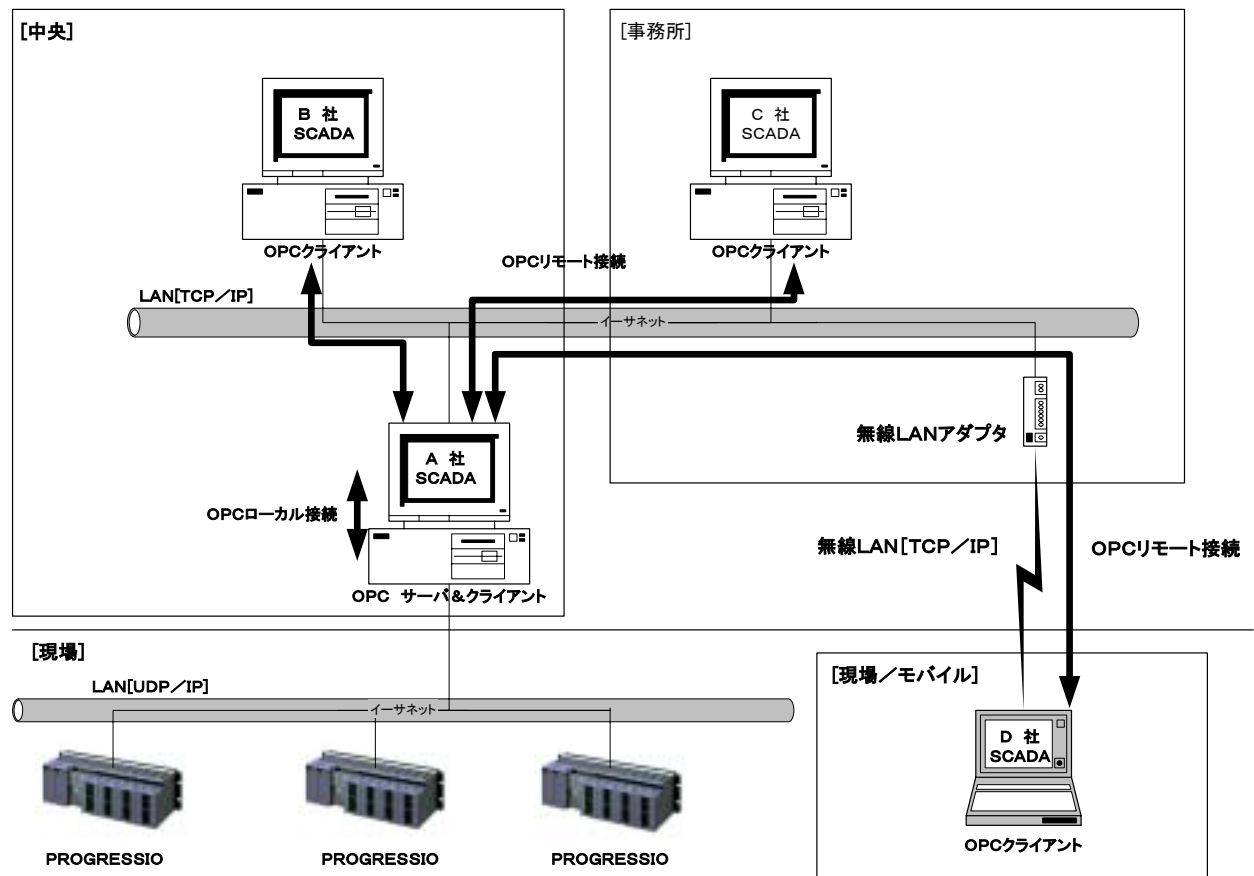


**PROGRESSIOデータシート**  
**(OPCサーバ編)**

■ 概要

オープンPI0対応「OPCサーバ」は、オープンPI0とSCADAソフトなどを簡単に接続するためのインタフェースソフトウェアです。産業オートメーションにおける標準プロセスデータ交換であるOPCインタフェースは、市販のSCADAソフトやソフトPLCなどと自由に組合せることによって、オープンな監視・制御システムが構築できます。

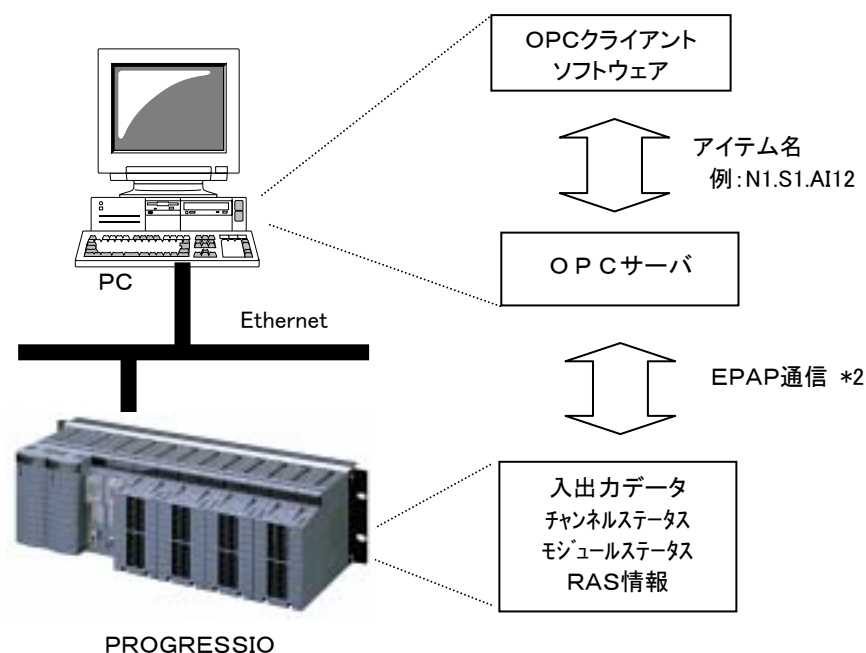


システム構成例

## ■ 特 長

### (1) 高速なデータ収集

オープンPIOのもつ高速なネットワークプロトコル（EPAP）を実装し、最小10m S / 50アイテムのデータ収集を実現しています。



\*1) SCADA: Supervisory Control And Data Acquisition (制御・監視ソフトウェア)

\*2) EPAP: Ethernet Precision Access Protocol (オープンPIO用高信頼・高速通信プロトコル)

## データ通信概要

### (2) 通信回線，入出力の二重化

オープンPIOのもつ高信頼性を発揮する二重化をサポートしています。通信回線の二重化、入出力の二重化を実現しています。

### (3) ユーザフレンドリーなアイテム名

クライアントとインタフェースするためのアイテム名称は、ハードウェアの物理的な位置をイメージした名称としました。アイテム名をわかり易くすることによって、メンテナンスの容易性およびエンジニアリングの効率化をサポートします。

アイテム名の例 Nn. Sn. XXn (n=1, 2・・・)

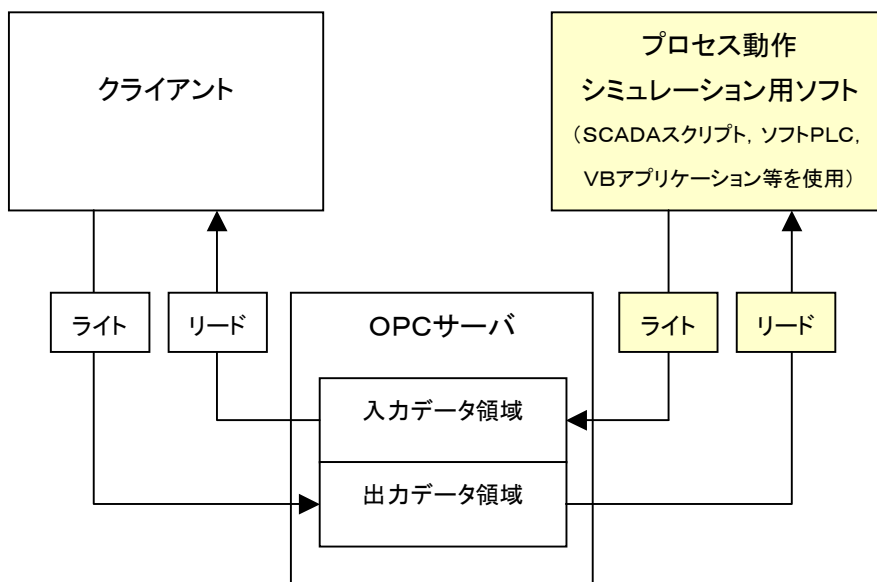
Nn : n番目のノード (N)

Sn : n番目のスロット (S)

XXn : XXモジュールのn番目の信号 (XX)

(XXはI/Oモジュールの種類で、アナログ入力の場合はAI、デジタル出力の場合はDOとなります。)

- (4) 実機レスでエンジニアリングできるシミュレーション機能  
 作成したアプリケーションのデバックも実機なしでも行えます。エンジニアリングの効率化をサポートします。



シミュレーション構成

- (5) 接続状態のトレース表示  
 OPCサーバとクライアントの接続状態をトレース表示することによって、接続状態を判定し、デバックをサポートします。

```

Fuji_Electric.OpenRemoteP10.001
267 17:10:54.870 R : EnumString_Next ($_FALSE)
268 17:10:54.870 S : BrowseOPCItemIds
269 17:10:54.870 R : BrowseOPCItemIds
270 17:10:54.870 S : EnumString_Next
271 17:10:54.870 R : EnumString_Next ($_FALSE)
272 17:11:28.429 S : AddGroup
273 17:11:28.429 S : GetGroupName
274 17:11:28.429 R : GetGroupName (E_INVALIDARG)
275 17:11:28.429 R : AddGroup
276 17:11:28.499 S : SetParent
277 17:11:28.499 R : SetParent
278 17:11:28.499 S : Advise
279 17:11:28.529 R : Advise
280 17:11:31.453 S : AddItems
281 17:11:31.453 R : AddItems
282 17:11:55.778 S : AddItems
283 17:11:55.778 R : AddItems
284 17:12:08.927 S : Sync_Read
285 17:12:08.927 R : Sync_Read
286 17:12:10.489 S : Sync_Read
    
```

← OPCインターフェイス関数名

データ通信概要

## ■ 仕様

No.	項目	仕様
1	製品名称	オープンPIO対応OPCサーバ
2	形式	SOPC01-000
3	対応規格	OPC Data Access 1.0A/2.0
4	対応装置	オープンリモートPIO PROGRESSIO
5	サーバ接続方法	リモート/ローカル接続
6	通信回線	10/100Mbps Ethernet接続
7	接続インターフェース	カスタムインターフェース (VC, VC++) / オートメーションインターフェース (VB, Delphi等)
8	クライアント数	標準 4クライアント/サーバ (設定ファイルで任意の値に設定可)
9	グループ数	標準 8グループ/クライアント (設定ファイルで任意の値に設定可)
10	アイテム数	標準 512アイテム/グループ (設定ファイルで任意の値に設定可)
11	接続ノード数	標準 8ノード (設定ファイルで任意の値に設定可)
12	アイテム形式	ハード番号. スロット番号. チャンネル番号 (. ビット位置) 例: N1. S1. A15, N8. S8. DI12, N8. S8. DWI1. 12
13	動作環境	ハードウェア PC/AT互換機 ・ CPU 866MHz以上 ・ メモリ 128MB以上 ・ ハードディスク空き容量 128MB以上
14		オペレーティングシステム ・ Windows NT4.0 SP3以上/2000/XP
15	性能	ローカル接続時のデータ更新周期(ms) = 登録アイテム数 x 0.2 + (ノード数 - 1) x 10 但し, 最小10ms リモート接続時はローカル接続時の2倍

## ■ 形式選定

形名	共通形名	個別形名	記 事
	<b>CHA</b>	<b>SOPC01</b>	オープンPIO対応 OPCサーバ
基本仕様コード		<b>-0</b>	基本形
		<b>0</b>	基本仕様 (Windows NT 4.0/2000/XP)
		<b>0</b>	



オープンPIO対応OPCサーバは、OPC FoundationのDA(Data Access version 2) 規格適合の認証ロゴを取得しています。

## ▲安全に関するご注意

\* この製品をご使用の際には、事前に取扱説明書を必ずお読みください。

## 富士電機株式会社

●特約店

TEL (03) 5435-7111 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2  
(ゲートシティ大崎イーストタワー)

環境システム事業部

本資料の内容は製品改良などのために変更することがありますのでご了承下さい。

2002. 11. 1